

二国間学術交流集会開催助成申請書

令和6年4月 日

公益財団法人鈴木謙三記念医科学応用研究財団
理事長 別所 芳樹 様

下記の二国間学術交流集会開催について、貴財団の助成に申請いたします。

申請者*1	(フリガナ) 氏 名	(昭・平) 年 月 日 生 印 (才)
	所属機関・職名	
	所在地	〒 ー TEL FAX
推薦者*2	所属機関 職名・氏名	公印
	所在地	〒 ー TEL

記

名 称			
	英名：		
開催期間	年 月 日 ～ 年 月 日 (日間)		
開催場所	会場名：		
	所在地：		
主催機関名			
予定参加者数	日本人 名	外国人 名	合計 名
	うち、外国人の国別参加者数		
所要経費総額	万円	助成希望額	万円

開 催 計 画

1. 開催計画から現在までの準備状況

2. 最近開催されたか、近く予定されている交流集会との比較と相互の関係等

3. 開催の目的及び専門的・学際的・国際的意義

4. 期待される効果（具体的に記入してください）

7. 外国人の参加者

氏名	国名	所属機関	職名

8. 日本人参加者の研究機関別人数**9. 共催又は後援者**

10. 収支予算表

(収 入)

項 目	予 算 金 額 (千円)	摘 要
合 計		

(支 出)

項 目	予 算 金 額 (千円)	算 定 の 基 礎
外国人	旅 費	
	渡 航 費	
	滞 在 費	
日本人	旅 費	
	交 通 費	
	宿 泊 費	
会 場 借 料		
レセプション費		
交通・通信費		
サキユラー、プログラム等印刷費		
成 果 刊 行 費		
賃 金		
そ の 他		
合 計		

備 考

- (1) 参考資料は出来る限り添付してください。
- (2) 計画書の各項目のうち、参考資料の内容によって説明されているところはその旨記載し、記入を省略しても構いません。
- (3) 助成を受けた申請者は、終了後2ヶ月以内に報告書を当財団理事長宛に提出していただきます。
- (4) 申請書に書ききれない場合は、補充用紙を使用してください。

補充用紙